



西日本旅客鉄道労働組合
中国JRバス地方本部
(JR西労組 中国バス地本)

〒736-0082 広島市安芸区船越南3-2-20
TEL 082-554-7978 JR 081-3951

発行責任者 友景 克典
編集責任者 西村 耕平

定期大会 各分会質疑詳細

岡山分会 楊井代議員

■55歳以降の基本給調整率廃止を2023春季生活闘争において2%の改善を勝ち取り84%となった。今後も継続して会社と協議していただき撤廃を！

■検診等の勤務認証化を健康診断、脳・心臓ドッグ等を受信する際は休日扱いである。他県での受診の際は1日つぶれることから義務であるのならば勤務認証に！

出雲分会 藤原代議員

■脱帽許可を通年化へ現在夏季限定の脱帽許可ですが脱帽が熱中症対策であるのなら、今後温暖化が緩和することは考えにくいいため通年の取り組みを。また夜行便については脱帽許可の範囲を拡大を！

浜田分会 田中代議員

■浜田地区でも現地採用を現在、岡山・出雲地区で実施されている現地採用だが浜田地区にも取り入れていただき人員確保に繋げてほしい！

■浜田車庫化から1年浜田営業所が車庫化して1年が経過した。費用の面などでどれほどの効果がでたのか教えてほしい！

黒瀬分会 西村代議員

■安全について報告する文化の醸成に向け今年度からヒューマンエラーが起因となる事故に関しては懲罰の対象としないと取り決められたが非常に曖昧な制度で現場は混乱している。線引きが難しい部分や同種の事象が発生した際に処分が違ってくるといった不安もある。今後も労使で協議を！

■賃金の底上げを平成16年に現在の給料体系がスタートした。数回にわたり賃金改正がおこなわれたが手当への比重が大きいのが現状。基本給の引き上げを！あわせて現行の定期昇給では同一等級で一定年数経過すると昇給額が半額となる。C1級での10年目以降の半額は、運転係における最上級のため管理者、P級への昇職をしなければならぬ。運転手不足のなか管理者への登用は厳しくP級に關しても受験資格が厳しすぎ社員全体の2%という話も耳にする。C1の上の等級をつくるかP級にもP3、P2といった部分を作っていたらいい！

■定年後の再雇用について定年後の再雇用については運転係の場合は嘱託社員、管理者・事務係・整備係の場合は契約社員での再雇用が多いように感じる。嘱託社員といっても業務内容は正社員の時となにも変わらないのが現状。嘱託交番や嘱託行路を作りたいが要員不足の中難しい。運転係が足りていない中で管理者を契約社員事務係での再雇用にも疑問を感じる。要員不足は解決の兆しも見えない中このままでは路線の維持も難しい。定年後も中国JRバスで働きたいと思える再雇用条件に！

■定年延長について昨年の労働協約改定交渉の要求の中にも盛り込まれていた定年延長だが反対意見があるのも事実。あと数年で退職を控えている組合員からの意見が多く、今後会社との議論が本格化してきた際はしっかり組合員の意見集約をして多くの組合員が納得する形を！

■無事故表彰制度について無事故表彰は非常に曖昧かつ、ずさんな管理により年数が経過していても支給されない、同種事象を発生させた者に対して支給されたりされなかったりと表彰の度にトラブルがおこる。無事故表彰

に変わる支給方法を検討していただきたい。例えば精勤手当の増額。業務担当相層であるC層に支給されるため運転・整備・事務とすべての業種に支給される。安全を支えているのは運転係だけではなく整備・事務が支えていることを忘れてはいけない！

■組織について現在分会には2名の国労組合員がいる。1企業1労働組合を目標し分会世話役活動に取り組んでいく。本部のバックアップを！

広島分会 川崎代議員

■退職金について15年・20年以上勤めた場合それぞれ1・0.5倍1・1倍の増額を。長く勤めるメリットと離職防止を！

■整備係の手当増額を整備管理者の手当や資格者への手当増額を。整備係も安心できる環境づくりを！

■一般線の距離手当増額を現在4円の一般線距離手当を高速・貸切と同額の5円で統一へ！

■制服について現在の女性運転係の帽子では痛みが早い。デザインも含めて変更を。男性運転係のズボンもあわせてデザイン、素材の変更を！

■保存年休の使用緩和を指定感染症などに罹患した場合、年休の残日数に関わらず保存年休から使用できるように！

■今後のバス事業の在り方についてコロナの終息は見えてきたが減便、路線廃止などの施策が多く会社不信、ひいては組合不信に繋がっている。退職者も多く目に見えて衰退している。今後の採用計画やバス事業の在り方について労使で協議を！

エキキタ分会 中村代議員

■冬のボーナス交渉について昨年の冬のボーナスが決定した時期から離職が止まらない。鉄道代行が始まり休日返上でJRグループの使命を完遂するため頑張っている。厳しい状況なのは理解しているが組合員が納得できる数字を勝ち取っていただきたい！

■時代に沿った制度改革を規制緩和・規制強化を繰り返し今の制度がある。2014年には貸切運賃の上限下限が設けられた。今年9月には更なる運賃改定が行われ中国地方では13%の値上げが予測される。貸切という特殊な業務に見合った賃金を求める。若い世代に魅力ある貸切業務に！

本社分会 小原代議員

■フレックスタイムについて今年2月から開始したフレックスタイム制だが業務効率の向上が図られるとともに自主的な業務を可能とする一方で時間を有効に使い個人生活を充実させることができる制度だがメリットがない組合員もいる。平日年休・時間単位年休制度と選択できるよう変更を！

山口分会 米廣代議員

■鉄道代行輸送手当の新設を緊急時災害従事手当10000円の新設と助勤手当5000円の増額。世界情勢が高インフレ、ロシアによるウクライナ侵攻の影響で一層不透明になる中、物価上昇に賃金上昇が追いつかず実質賃金は前年比でマイナス。7月より限定的措置として割増賃金の各単価が5%増率された。要員不足のなか全社員の理解と協力なくしては成り立たないという考えは理解できるが月に8〜10日間鉄道代行に従事すればその間の費用は節約しても大変な重荷になる。限定的措置という形でもかまわないので検討を！

■今後の鉄道代行の方向性は鉄道代行輸送に対して会社は今後どう携わっていくのか。新型コロナが5類に引き下げられ9〜11月は例年にならぬ貸切受注が入っている。閑散期に入り会社全体で取り組むのであればそれに応じた施策が必要であり多くの組合員が反転攻勢を信じ、休日返上で業務にあたっている。今後他社と共同運行するのか出来る限り多く自社で運行するのか今後の見解を要請する。